

24場出場予定選手&展望



戸田	2/3~6	平田忠則が 24場制覇に挑む
住信SBIネット銀行賞		平田忠則は24場制覇をリーチしてから戸田は11度目の参戦。このシリーズは強力メンバーが不在。偉業達成へ力が入る。力をつけている高倉和士、当地は4Vの梶野学志が強敵に。地元山崎義明も攻めのハンドルで見せ場を作る。女子では松本晶恵、蜂須瑞生が軽量を生かして浮上。
◎	平田 忠則 高倉 和士	
○	梶野 学志 里岡 右貴	
△	山崎 義明 坪口 竜也	
×	松本 晶恵 蜂須 瑞生	
注	渡辺 真至 加藤 翔馬	

桐生	1/17~22	激戦ムードも重成一人が スピードで魅了
マスターズリーグ第10戦 第3回DKナイトカップ		DR戦出場予定選手は25年前期適用勝率上位順で①吉川昭男、②金田諭、③石川真二、④服部幸男、⑤柴田光、⑥三角哲男。御大・江口晃生が不参加のため、V戦線は混とんとしているが、シリーズを先導するのは地力上位の重成一人か。三嵩誠司は一昨年、当地GIIMB大賞を制して以来の参戦となる。
◎	重成 一人 吉川 昭男	
○	三嵩 誠司 石川 真二	
△	三角 哲男 柴田 光	
×	金田 諭 深井 利寿	
注	服部 幸男 古結 宏	

江戸川	1/23~28	昨年の周年覇者 湯川浩司が参戦
第48回デイリースポーツ杯		昨年の周年覇者が今年も周年戦から1節遅れの一般戦に登場。当地戦は過去5度のVがGI戦4勝、GII戦1勝と破格の強さを誇る。対抗は中辻崇人。昨年は年間V8。昨年9月の当地前走はオールチルト2度で最後は逃げ切りV。大池佑来は地元大将格として力を示すか。地元勢では前沢丈史も復調気配。
◎	湯川 浩司 大池 佑来	
○	中辻 崇人 柳沢 一	
△	荒井 輝年 杉山 裕也	
×	馬場 剛 松山 将吾	
注	桑島 和宏 澤田 尚也	

桐生	1/31~2/5	グランプリ戦士の桐生順平、 土屋智則が席卷
第6回清酒赤城山 近藤酒造杯		GP戦士の桐生順平、土屋智則が2強を形成。前者は当地GI覇者で水面相性が良く、後者は地元だけに気合十分で臨む。他では当地GIIIでV歴ある鈴木勝博、前回Vの松田大志郎、福島勇樹や中村尊ら攻撃的な面々が並ぶ。穴は桐生での機出し、ダッシュ乗せがうまい金子賢志。
◎	桐生 順平 土屋 智則	
○	鈴木 勝博 松田大志郎	
△	福島 勇樹 中村 尊	
×	松崎祐太郎 村田 修次	
注	金子 賢志 松本 純平	

江戸川	2/4~9	A1級不在の大混戦節！ 清水沙樹に注目
江戸川ウィーナスシリーズ・ Yes!高須クリニック杯		A1級主力が不在の混戦シリーズ。ならば、強い江戸川愛で当地波風もこなす清水沙樹に注目。選手地力では復調急な倉持莉々。平田さやか、大豆生田蒼関東勢がシリーズをリードか。中澤宏奈と寺島美里も新期A2級昇格と注目の東京勢。共に当地水面のさばきも引き台風の目になるか。(ガイド・野添)
◎	清水 沙樹 倉持 莉々	
○	平田さやか 大豆生田蒼	
△	中澤 宏奈 今井 裕梨	
×	犬童 千秋 樋口由加里	
注	寺島 美里 中田 夕貴	

戸田	1/11~14	一般戦超安定の 岡村慶太が中心
第3回漫画アクションカップ		一般戦は安定して優出を重ねる岡村。実戦足を整えて、大崩れなくシリーズを運ぶ。地の利を生かして対抗するのは濱崎直矢。直線系を仕上げて攻撃力を発揮する。佐藤博亮もV候補のひとり。前田聖文も2期連続でA1級の勝率を確保。ターンの鋭さは以前より増している。板橋侑我、安達裕樹も実力は上位。
◎	岡村 慶太 濱崎 直矢	
○	佐藤 博亮 前田 聖文	
△	山田 雄太 前沢 丈史	
×	石田 章央 東本 勝利	
注	板橋 侑我 安達 裕樹	

平和島	1/20~25	齊藤に地元の意地、徳増 と深川も特色ある走りで
JESCOカップ・ 平和島劇場開設15周年記念		齊藤仁が地元代表として出場する。近況ますます円熟味は増し、昨年チャレンジCでも準優出と好走。記念回りの合間に参戦する今回はV候補筆頭。齊藤と覇権を争うのは同じベテラン格。徳増秀樹は行き足が来ると強烈な攻めを連発。深川真二にとっても平和島はSGV歴がある好相性水面であり奮起必至。
◎	齊藤 仁 徳増 秀樹	
○	深川 真二 入海 馨	
△	島田 賢人 岡 祐臣	
×	松尾 拓 海野ゆかり	
注	山下 和彦 倉持 莉々	

戸田	1/26~31	田口節子、寺田千恵が 総合力上位
男女W優勝戦・モーヴィ戸田・ マクール杯		男子は石丸海渡、中田元泰の香川両者が中心。攻めの瞬発力があるのが石丸。中田もさばきは安定。益田啓司も一般戦なら大崩れなくまとめる。柴田光は前期F2の影響は気になる。女子は田口節子、寺田千恵が総合力でリード。決定力のある走りが魅力の實森も侮れない。地元勢では大豆生田蒼に期待。
◎	石丸 海渡 田口 節子	
○	中田 元泰 寺田 千恵	
△	益田 啓司 實森 美祐	
×	柴田 光 大豆生田蒼	
注	後藤 翔之 中谷 朋子	



24場出場予定選手&展望

レース場担当者

桐 生：スポーツ報知・佐々木伸
 戸 田：ガイド・長谷川
 江戸川：ガイド・野添
 平和島：ガイド・長船
 多摩川：トーチュウ・白川
 浜名湖：MOCHI

浜名湖 1/16 ~ 21

創刊70周年記念
中日スポーツゴールドカップ

◎	金子 和之	三浦 敬太
○	永井 源	木村 仁紀
△	宇野 弥生	川井 萌
×	清水 愛海	芝田 浩治
注	渡邊 英児	川井 萌

実力伯仲のメンバー構成 で優勝争いは混戦必至だ

A1級が4人ということもあり、激しいせめぎ合いが予想される。中心は金子和之。当地は22年以降の4節全てで優出と相性の良さが光る。永井源、木村仁紀、三浦敬太の3人はA1級キープへ順調なペース。安定感のある走りをみせる。女子では宇野弥生や清水愛海、川井萌の127期コンビに注目だ。

平和島 1/29 ~ 2/3

BTSオラレ上越
開設13周年記念

◎	竹井 貴史	飯島 昌弘
○	長野壮志郎	永田 秀二
△	末永 由楽	市川 哲也
×	石倉 洋行	小林 泰
注	山本 英志	田中 辰彦

勢いがある竹井に注目、 レースの安定感で飯島も

冬場の平和島は向かい風が基本。攻撃派には利がある。その点で注目したいのは竹井貴史。今期適用勝率は7点台に到達、一般戦を回ればほぼ優出を外さず勢いもある。ベテランでは飯島昌弘に再注目が必要だろう。竹井同様に果敢な長野壮志郎、当地さばき巧妙な永田秀二にも要警戒。

浜名湖 1/30 ~ 2/4

公営レーシングプレス杯

◎	茅原 悠紀	定松 勇樹
○	河村 了	吉田 拓郎
△	川上 剛	星 栄爾
×	一瀬 明	長尾 章平
注	前野 竜一	島田 賢人

茅原悠紀VS定松勇樹の グランプリコンビが激突

昨年のマネーバトルを盛り上げた茅原悠紀と定松勇樹がシリーズ2強を形成。一騎打ちが濃厚も、軸になるのは茅原か。当地ではGI65周年の優勝歴があり、実績で1歩リードする。定松が勢いと若さに任せて真っ向勝負を展開。両者の一角を崩すとなれば、吉田拓郎。とっておきのスタート攻勢で渡り合う。

多摩川 1/10 ~ 15

ルーキーS第1戦スカパー！
第25回JLCカップ

◎	藤原 碧生	大澤 風葵
○	高橋 竜矢	中村 日向
△	前田 滉	藤田 俊祐
×	濱野 斗馬	塚越 海斗
注	長谷川晴哉	山下 大輝

高い将来性を秘めた ルーキー達の熱いバトル

将来のSG候補生が多摩川に集った。中でも注目は昨年VラッシュでGIでも活躍した藤原碧生だが、新期勝率メンバートップの大澤風葵にも期待がかかる。すでにSGを経験したことのある中村日向、高橋竜矢も有力どころ。藤田俊祐は当地の走り方は心得ている。走り慣れた水面で力を出し切りたい。

浜名湖 2/9 ~ 14

につぼん未来プロジェクト競走
in浜名湖

◎	濱野谷憲吾	片橋 幸貴
○	大場 敏	上條 嘉嗣
△	仲道 大輔	金子 萌
×	山本 隆幸	原 豊土
注	芹澤 克彦	藤田 竜弘

濱野谷憲吾が優勝候補の 筆頭。さすがの貫禄示す

濱野谷憲吾が浜名湖の一般戦を走るの19年8月以来。その時はオール2連対で優勝を飾っている。経験値の違いを見せて、Vロードを突っ走る。片橋幸貴は昨年11月の一般戦でファイナル1枠も、松下一也の4カド一撃を浴びて無念の2着。是が非でもリベンジを果たしたい。

多摩川 1/19 ~ 23

タ刊フジ杯

◎	宮之原輝紀	久田 敏之
○	丸岡 正典	上條 嘉嗣
△	小野 達哉	白神 優
×	山本 隆幸	長岡 良也
注	若林 義人	山谷 央

クラシックで優出！ 宮之原輝紀が実力示す

地元の宮之原輝紀に期待する。昨年はSG初優出をするも、9月の津周年でFを切ってしまう酸いも甘いも経験した1年だった。その影響で現在はGI、GIIには出られないが与えられた舞台でしっかり結果を出したい。久田敏之が相手候補。昨年7月に当地で優勝した上條嘉嗣やSG2冠の丸岡正典にも注目。

蒲郡 1/15 ~ 20

エフエムEGAO杯
第53回家康賞

◎	白井 英治	萩原 秀人
○	中山 雄太	栗城 匠
△	出畑 孝典	松本 純平
×	秦 英悟	大須 賀友
注	篠田 優也	渡辺 真至

白井の実績が断然も休み 明けで過信は禁物

昨年の白井は年間3本の勇み足。これではグランプリへ駒を進めることは困難だ。F休み明けの今節は心機一転で臨む。コーナー俊敏な萩原、A1級返り咲きの栗城が逆転Vを狙って虎視眈々。地元の中山は蒲郡初Vに意欲を燃やしており要注意。前期は3Vを挙げて7点台の出畑の勢いにも注目が集まる。

多摩川 1/28 ~ 2/2

第8回auじぶん銀行賞

◎	三角 哲男	渡邊 雄朗
○	江夏 満	石塚 久也
△	小山 勉	谷川 祐一
×	須藤 博倫	泥谷 一毅
注	中村 魁生	竹間 隆晟

当地歴代最多17Vの 三角哲男が記録を伸ばす

混戦が予想されるメンバー構成だが、当地歴代最多Vを誇る三角哲男が混戦を断つか。昨年は優勝を重ね飛躍の年となった渡邊雄朗も強気の調整で上位着量産へ。その渡邊に前回当地戦ではVを奪われた石塚久也もリベンジに燃える。自在派の江夏満に前付けでかき乱す谷川祐一も面白い。



常滑	1/31 ~ 2/3	
とこなめYouTubeLive にゃんこの目記念競走		
◎	永田 啓二	大澤 風葵
○	柳生 泰二	今井 貴士
△	秋元 哲	田中 和也
×	天野 晶夫	吉島 祥之
注	鈴谷 一平	鶴本 崇文

**前回カドまくり不発の
永田啓二が雪辱晴らすか**

戸田ボートレースタービーでSGを経験した永田啓二にV期待。11月の前回当地戦は優出4着、今度こそはの意気込みだ。着実にスターへの階段を上がりつつある大澤風葵がスピード全開で真っ向勝負。40代になって円熟期に入った柳生泰二・今井貴士も主役の一角を担うか。

蒲郡	1/23 ~ 28	
日本モーターボート選手会 会長杯争奪戦		
◎	赤岩 善生	尾嶋 一広
○	松田 祐季	北村 征嗣
△	山崎 哲司	前原 大道
×	山川美由紀	中辻 博訓
注	小池 哲也	鎌倉 涼

**地元の闘将・赤岩が
遠征勢を迎撃**

昨年の赤岩は前々期に続き前期も7点を割るアベレージ。本調子とはいかなかった。来年は蒲郡でクラシックが開催されるだけにV回数を増やしたい。当地でのエンジン出しが上手な尾嶋に魅力十分。ターン力のある松田と北村も優勝圏内。女子レーサーでは山川、鎌倉がV戦線に絡んでくるだろう。

津	1/17 ~ 22	
につぼん未来プロジェクト競走 in津		
◎	原田 幸哉	秋山 直之
○	武田 光史	福島 勇樹
△	渡辺 浩司	小山 勉
×	中嶋健一郎	一瀬 明
注	中村 有裕	星野 太郎

**総合力は原田幸哉、
秋山直之**

昨年の原田幸哉は4月に大村周年3回目の優勝を達成。だが前期はF2となり急速。思うような一年とはいえなかったか。巻き返しの2025年へ挑む年頭だ。秋山直之も最高峰のターンスピードは健在。原田との攻防は見応えたっぷり。武田光史、福島勇樹、渡辺浩司とV争いハイレベルな争いへ。

蒲郡	1/31 ~ 2/4	
蒲郡商工会議所会頭杯争奪 ガマゴリうどんグランプリ		
◎	濱野谷憲吾	古賀 繁輝
○	中澤 和志	大峯 豊
△	村岡 賢人	森永 淳
×	原田 篤志	片橋 幸貴
注	村松 修二	宮下 元胤

**A2級でも
濱野谷の存在感が一枚上**

濱野谷は1月からA2に降格したが、90日のF休みによる出走回数不足と原因がハッキリしている。ターン力で陰りはなく俊敏なコーナーワークでシリーズをリードするか。古賀、大峯、村岡は一般戦では常に優勝候補に一角。舟券作戦からは外せない面々だ。当地との相性なら6Vを挙げている中澤。

津	1/26 ~ 30	
日本モーターボート選手会 会長賞		
◎	塩田 北斗	中村 晃朋
○	里岡 右貴	畑田 汰一
△	葛原 大陽	若林 将
×	春園 功太	三嵐 誠司
注	寺本 重宣	堀本 和也

**ドル箱で暴れるか
塩田北斗**

塩田北斗は前回戦を優勝。津を得意水面と豪語しており今回もV最右翼の位置づけだ。中村晃朋は実績に乏しい水面も、今では四国を代表するひとりへ成長。積極的なレース展開で塩田に迫る。水面との相性なら里岡右貴が抜群にいい。畑田汰一もルーキー戦Vの実績あり。

蒲郡	2/7 ~ 10	
サンベリー蒲郡いちご杯		
◎	宮之原輝紀	前田 滉
○	石本 裕武	角谷 健吾
△	星野 太郎	馬袋 義則
×	黒柳 浩孝	野村 誠
注	青木 蓮	黒崎 竜也

**将来有望な宮之原を
巡り地元勢が奮起**

A1級は3名のみ。津周年優勝戦のFによるペナルティー期間中の宮之原が主役。まだ特別戦のタイトルは手にしていないが、10優出を数えており記念戦線の復帰が待ち遠しい。A1級だが地区選から外された前田と黒柳がいつも以上に奮起。センスが光る石本にも注目。

三国	1/14 ~ 18	
住信SBIネット銀行賞		
◎	江口 晃生	守田 俊介
○	松村 敏	中村 尊
△	益田 啓司	野中 一平
×	杉山 裕也	作間 章
注	木田峰由季	酒井 俊弘

**当地巧者守田俊介登場！
白熱の5日間シリーズ**

5日間にわたって行われる住信SBIネット銀行賞。好メンバーが揃ったが中でも注目は12度の優勝を飾る三国巧者の守田俊介。巧みな技でシリーズを引っ張る。コース取りから注目の江口晃生、昨年22優出4Vの松村敏、スタートから仕掛ける野中一平、中村尊などが首位争い。

常滑	1/16 ~ 19	
スポーツ報知杯争奪 第15回ビクトリーカップ		
◎	中辻 崇人	清水 敦揮
○	澤田 尚也	大池 佑来
△	前田 篤哉	本多 宏和
×	今村 暢孝	馬野 耀
注	松井 友汰	金田 智博

**男女混合の
実力拮抗シリーズ**

中辻崇人は24年、当地を含む8Vと一般戦で圧倒的な強さを見せた。90日のF休み明け2節目が気になるが、実力発揮ならVの本命候補。安定感なら清水敦揮、年間通して崩れはなかった。記念で通用する大池佑来に、スケールの大きな走りが魅力の澤田尚也。地元の前田篤哉・本多宏和も大差はない。

24場出場予定選手&展望

レース場担当者

蒲 郡：スポーツ報知・太田和良
 常 滑：とこなめ情報 土井勇士
 津 国：中日スポーツ高橋亮考
 三 国：実況アナウンサー・高橋敬亮
 びわこ：クラ

びわこ	2/9 ~ 12	
第1回浪乃音酒造杯		
◎	河村 了	是澤 孝宏
○	泥谷 一毅	春園 功太
△	松尾 充	中村 魁生
×	渡邊 睦広	小坂 宗司
注	和田 操拓	水野 望美

河村了がV候補の筆頭 A2級勢もチャンス十分だ

4日制のショートシリーズ。A1級はGII覇者の河村了、1月に13期ぶりのA1級復帰を果たした泥谷一毅の2人のみ。現在はA2級ながら近畿チャンプの称号を持つ是澤孝宏も地元の意地でV争いへ。春園功太、松尾充、中村魁生や当地V歴のある渡邊睦広、小坂宗司にもチャンスは十分だ。

三国	1/25 ~ 29	
マンスリー BOATRACE杯		
◎	山田 祐也	西野 雄貴
○	吉川 貴仁	黒野 元基
△	岩瀬 裕亮	森永 隆
×	石本 裕武	佐藤 悠
注	島川 光男	川北 浩貴

山田祐也と西野雄貴 うずしおコンビに期待!

優勝候補は山田祐也。昨年は2度のGIを含む13度の優出。当地はGIIを制した思い出の舞台だ。A級に復帰した西野雄貴にも注目。昨年11月の鳴門で完全Vを飾るなど好リズム。A2級も勝率は7点台とここは上位。うずしおコンビに期待だ。

住之江	1/10 ~ 14	
BTSりんくう 開設12周年記念競走		
◎	田中 和也	伊藤 将吉
○	上條 嘉嗣	佐々木康幸
△	村松 修二	松尾 拓
×	麻生 慎介	浜先 真範
注	荒川 健太	北山 康介

地元VS遠征勢

ベテランから若手まで幅広く揃った混戦シリーズ。その中心は田中和也と上條嘉嗣。年始の王将戦は不参加だったが、今年初の地元戦で両者ともに気合は十分だ。遠征勢では伊藤将吉と佐々木康幸に注目が集まる。村松修二、松尾拓、浜先真範などの若手勢も実力は確かで優勝争いに期待ができる。

びわこ	1/13 ~ 18	
日刊スポーツ杯ニッカン・コム 杯争奪第39回荒法師賞		
◎	吉田 裕平	船岡洋一郎
○	黒井 達矢	市川 哲也
△	小池 哲也	永田 秀二
×	上村 純一	馬場 剛
注	鎌倉 涼	大豆生田蒼

吉田裕平がV戦線の軸も 混戦必至のシリーズ!

吉田裕平は昨年11月のまるがめ72周年で念願のGI初制覇。存在感たっぷりの走りでも今回こそ当地初Vを飾りたい。ただ、昨年はV7の船岡洋一郎も有力なV候補。びわこ巧者として知られる黒井達矢、当地周年V2の実績を残す市川哲也、さらに小池哲也、永田秀二らも加わってV争いは混戦ムードだ。

住之江	1/21 ~ 26	
につぼん未来プロジェクト競走 in住之江		
◎	太田 和美	藤岡 俊介
○	和田 兼輔	原田 篤志
△	赤坂 俊輔	永田 啓二
×	鶴本 崇文	白水 勝也
注	長嶋 万記	今井 貴士

地元大将・太田和美が 迎え撃つ!

につぼん未来プロジェクト競走には、一線級でも戦う好メンバーが揃った。その中で優勝候補筆頭は太田和美。SGV7の実績が輝くように一般戦に入れば役者が違う。今回は地元大将として主役の走りに期待したい。この太田を相手に藤岡俊介、和田兼輔の兵庫勢、原田篤志、赤坂俊輔などが逆転を狙う。

びわこ	1/22 ~ 28	
第5回京都新聞杯		
◎	田村 隆信	山崎 郡
○	下出 卓矢	君島 秀三
△	吉川 喜継	坂口 周
×	安河内 将	濱崎 直矢
注	大橋純一郎	佐藤 博亮

地力は断然の田村隆信 山崎郡、下出卓矢が迫る

1月から19期ぶりにA2級陥落となった田村隆信だがSG3冠&GI16Vの実績は断然。一般戦クラスならV争いを演じるのは間違いないさそうだが、昨年は尼崎近畿地区選でGI初制覇の山崎郡、三国71周年で2回目のGI制覇を遂げた下出卓矢、他にも君島秀三や吉川喜継の地元勢がV戦線を盛り上げる。

住之江	1/29 ~ 2/3	
サンケイスポーツ旗争奪 第67回GSS競走		
◎	平尾 崇典	永井 彪也
○	村上 遼	清水 敦揮
△	海野ゆかり	有賀 達也
×	吉田 一郎	田中 豪
注	小坂 宗司	溝口海義也

伏兵揃いの混戦シリーズ

当地でSGと記念Vがある平尾崇典。当然ここに入れば実績最上位と言えるが、最近では永井彪也、村上遼なども記念戦での活躍が増えてきた。この三者による優勝争いとなりそうだが、清水敦揮と吉田一郎も一般戦なら大崩れは少ない。女子では地力上位の海野ゆかり、パンチ力ある山下夏鈴が不気味な存在だ。

びわこ	1/31 ~ 2/5	
につぼん未来プロジェクト競走 inびわこ		
◎	関 浩哉	新開 航
○	末永 和也	齊藤 仁
△	出畑 孝典	鈴木 博
×	向後 龍一	浜田亜理沙
注	渡邊雄一郎	金子 拓矢

関浩哉がV戦線の主役 GP組の存在感を披露へ

昨年はGI V2でグランプリ初出場を遂げた関浩哉がV戦線を引っ張るか。新開航、末永和也らもヤング世代では屈指の実力を駆使してV争いへ。齊藤仁もGI3冠のテクニクに陰りはない。出畑孝典、鈴木博、向後龍一はびわこ巧者の存在感を發揮。GI覇者の浜田亜理沙もV争いに加わってくる。



鳴門 1/17 ~ 20	
第9回阿波金剛ITソリューションカップ競走	
◎	笠原 亮 桑原 悠
○	石塚 久也 是澤 孝宏
△	森野 正弘 中野 仁照
×	丸尾 義孝 西野 雄貴
注	谷川 祐一 新田 泰章

強豪相手に地元勢が立ち向かう

SG優勝の実績が光る笠原亮をはじめ、桑原悠、石塚久也、是澤孝宏とスピード攻撃が持ち味の精鋭がそろった。森野正弘、新田泰章もシャープな攻めで浮上する。強力な遠征組を迎え撃つ地元勢はベテランの丸尾義孝に、若手のリーダー的な存在となっている西野雄貴が地の利を生かす。

住之江 2/6 ~ 11	
デイリースポーツ旗争奪第66回ホワイトベア競走	
◎	丸岡 正典 松村 敏
○	長岡 良也 水摩 敦
△	川崎 智幸 坂元 浩仁
×	青木 玄太 谷川 祐一
注	板橋 侑我 末永 祐輝

丸岡正典が中心も波乱要素は十分

地元ではV8の実績がある丸岡正典を筆頭に、スタート力に定評がある松村敏、伸び仕様の調整が得意な水摩敦などが参戦。いずれも調整力は確かで、シリーズの主役として活躍を期待したい。川崎智幸も当地では記念Vの実績があるように水面相性は良好。伏兵では攻撃力ある末永祐輝に注目を。

鳴門 1/24 ~ 27	
睦月杯競走	
◎	市橋 卓士 古賀 繁輝
○	萩原 秀人 大峯 豊
△	竹田 辰也 川野 芽唯
×	中村 尊 松本 純平
注	浅田千亜希 土屋実沙希

主力伯仲の男女混合戦

男女混合シリーズに好メンバーが集まった。男子では地元の市橋卓士が主役の座を守りたいが、好調モードの古賀繁輝に、萩原秀人、竹田辰也も地力は互角で市橋の独走は許さないはず。女子は川野芽唯が男子相手でも好勝負を演じる。地元の浅田千亜希に、土屋実沙希の攻撃力も魅力だ。

尼崎 1/13 ~ 16	
再建尼崎城6周年記念杯	
◎	桐生 順平 西島 義則
○	遠藤 エミ 浜田亜理沙
△	赤岩 善生 藤原 菜希
×	田中信一郎 今井 美亜
注	藤岡 俊介 松村 康太

激戦必至！ハイレベルな短期決戦

豪華絢爛なメンバーが集結した。艇界の男女トップといっても過言ではない桐生順平と遠藤エミが登場。さらに、西島義則、田中信一郎、赤岩善生といった実力者が名を連ねる。混合戦で浜田亜理沙や藤原菜希が花を添える。迎え撃つのは地元の藤岡俊介。走り慣れた水面で遠征陣に好き勝手はさせられない。

鳴門 1/30 ~ /2/3	
鳴門のいも屋杯競走	
◎	西山 貴浩 宮地 元輝
○	吉村 正明 宮之原輝紀
△	高橋 正男 尾上 雅也
×	角谷 健吾 杉山 貴博
注	黒柳 浩孝 石川 諒

グランプリコンビが戦線をリード

昨年末の大一番グランプリ出場の18人に名乗りを上げた西山貴浩、宮地元輝がツートップ。両者ともに2ndステージへの進出はできなかったが、年間を通じて特別戦の活躍は光った。力と技をみせつけそう。シャープな攻めが頼もしい吉村正明に、宮之原輝紀のスピード攻撃も楽しみ。

尼崎 1/20 ~ 25	
サンケイスポーツ旗争奪第56回尼崎選手権競走	
◎	吉田 俊彦 北山 康介
○	松田大志郎 吉永 則雄
△	金子 拓矢 井本 昌也
×	和田 拓也 麻生 慎介
注	柳生 泰二 黒柳 浩孝

地元の吉田俊彦がシリーズをけん引

6日間のロングランシリーズ。地元の大将格は吉田俊彦。好みの出足型へ早期に仕上げた時は安定感抜群の走りを見せる。松田大志郎が対抗格。当地前回(11月一般戦)は機力を仕上げたV。破壊力満点の乗りっぷりに期待。金子拓矢や柳生泰二も堅実にポイントを積み重ねる。和田拓也は一角を崩したい。

鳴門 2/7 ~ 12	
なるちゃんバースデー9周年記念競走	
◎	柴田 光 前田 翔
○	立間 充宏 中谷 朋子
△	香川 素子 後藤 翔之
×	大庭 元明 興津 藍
注	長谷川雅和 田中 駿兵

断然のV候補は不在の男女混合戦

飛び抜けた実力者が見当たらず波乱ムードの攻防戦となりそう。安定感ベテランの柴田光が一番。コース取りから注文をつけて戦線を引っ張る。前田翔はスピード力を発揮。女子勢は中谷朋子、香川素子が男子相手に鋭い攻めで浮上。地元勢の注目は力をつけてきた田中駿兵。

尼崎 1/29 ~ 2/2	
スポーツニッポン杯争奪伊丹市施行71周年記念競走	
◎	深川 真二 平石 和男
○	藤原啓史朗 金子 和之
△	入海 馨 山下 大輝
×	久田 敏之 登玉 隼百
注	作間 章 向井 美鈴

混戦のミドルシリーズ

内寄りから主導権を握る深川真二がやや優勢も激戦必至。藤原啓史朗は当地近況はエンジンの引きも良く優出経験も豊富。昨年GIウイナーとなった入海馨や久田敏之と作間章はあまり走ることが少なく序盤がキーポイントになりそう。地元からは山下大輝、登玉隼百が遠征陣を迎え撃つ。



24場出場予定選手&展望

レース場担当者

住之江：安達弘持
 尼崎：日刊・北條直治
 鳴門：報知・田代
 亀：A
 島：S・O
 宮島：B R宮島専属記者 宮崎経督

児島	2/3 ~ 7	
日本トーター杯		
◎	山田 康二	佐藤 大佑
○	荒井 輝年	島川 光男
△	岡瀬 正人	馬場 剛
×	日高 逸子	一柳 和孝
注	荒井 翔伍	平野 和明

**山田康二がスピード戦で
主役務める**

山田康二は24年V4。賞金王シリーズに出場するなど、エンジンを問わずスピード戦で主役だ。佐藤大佑は10月戦でV実績。伸びを意識した調整で豪快なまくりもある。地元の荒井輝年、岡瀬正人も機力仕上げで上位進出。島川光男、日高逸子はベテランの捌きで好勝負。馬場剛らも脅かす。

丸亀	1/17 ~ 1/20	
サンケイスポーツカップ		
◎	塩田 北斗	渡邊 和将
○	木谷 賢太	吉川 貴仁
△	桐本 康臣	杉山 貴博
×	尾上 雅也	西野 翔太
注	藤山 翔大	石本 裕武

**4日間の短期決戦
スタートダッシュがカギ**

4日間の短期決戦。言うまでもなくスタートダッシュが大きなカギになる。Fをしない男だった塩田北斗が昨年末のGI鳴門周年で珍しく勇み足。どこまで踏み込んでくるかが、テク勝負では負けない。対照的に渡邊和将は昨年末のGI福岡周年で優勝戦4着。流れはいい。木谷賢太が地元の意地をみせるか。

宮島	1/11 ~ 16	
第5回週刊大衆杯		
◎	吉川 元浩	深川 真二
○	下條雄太郎	高倉 和士
△	石丸 海渡	和田 拓也
×	白水 勝也	山下 和彦
注	前原 大道	白石 健

**下條雄太郎、高倉和士の
一撃に警戒**

過去4回の週刊大衆杯優勝戦は万舟決着2回で平均配当は2万3000円を超えと波乱決着が続く。今大会は主力に吉川元浩、深川真二と記念級のベテランレーサーがエントリーも、2024年3月の当地GII「MB大賞」を大外まくりで制した下條雄太郎や伸び盛りの高倉和士、和田拓也の破壊力には大注目だ。

丸亀	1/25 ~ 1/30	
にっぽん未来プロジェクト競走 inまるがめ		
◎	新田 雄史	豊田健士郎
○	笠原 亮	平田 忠則
△	福来 剛	杉山 正樹
×	野中 一平	伊藤 将吉
注	浜先 真範	梶野 学志

**新田雄史、豊田健士郎
強力三重コンビが主役**

昨年の住之江グランプリシリーズに出場した新田雄史、豊田健士郎の三重コンビがシリーズを引っ張って行きそうだ。今年は津でSGボートレースダービーが開催されるだけに、両者とも気合が入っている。笠原亮も一般戦では無敵の走り。枠に応じてチルトを使い分ける平田忠則にも注目しておきたい。

宮島	1/23 ~ 28	
九州スポーツ杯		
◎	西島 義則	仲口 博崇
○	大上 卓人	岡村 仁
△	平高 奈菜	平山 智加
×	重野 哲之	石原 翼
注	馬野 耀	西舘 健

**優勝候補の筆頭は地元の
御大将・西島義則**

大本命は地元の西島義則。通算3000勝に加え2連対5000回超えの大記録を達成と、衰え知らずの剛腕レーサー。生命線である行き足さえ備われば勝ち負けは必至だ。相手は快速派の仲口博崇、岡村仁、大上卓人、重野哲之となるが、女子も銘柄級が出場しており、高配当を演出するシーンもありそうだ。

児島	1/17 ~ 22	
ヴィーナスシリーズ第19戦 第14回クラリスカップ		
◎	守屋 美穂	田口 節子
○	土屋 千明	高田ひかる
△	前田 紗希	實森 美祐
×	香川 素子	塩崎 桐加
注	堀之内紀代子	勝浦 真帆

**地力上位の
守屋美穂VS田口節子**

守屋美穂と田口節子は新勝率で7点オーバー。ともに地元では優勝実績があり、好結果を残している。土屋千明は堅実なハンドル捌きで安定感がある。高田ひかるは豪快まくりがあり、一角崩しも十分。前田紗希、實森美祐、香川素子、塩崎桐加も上位圏内。堀之内紀代子、勝浦真帆が地元の意地を見せる。

宮島	2/5 ~ 9	
中日スポーツ杯		
◎	守田 俊介	海野康志郎
○	寺本 重宣	西野 翔太
△	秦 英悟	若林 義人
×	高田 明	井内将太郎
注	藤山 翔大	松下 一也

**軸は守田俊介と
海野康志郎**

主軸は守田俊介と海野康志郎。この両者に寺本重宣、若林義人、秦英悟が加わり上位を形成。さらに地元で好調の西野翔太も迎撃態勢を整え激戦必至。さらに現在77歳で艇界最年長レーサーの高塚清一も参戦。今期初陣の戸田ではイン速攻で快勝しており一挙手一投足に注目。

児島	1/26 ~ 31	
第40回日本モーターボート 選手会会長杯		
◎	片岡 雅裕	池永 太
○	山本 寛久	森定 晃史
△	松尾 昂明	佐藤隆太郎
×	佐々木完太	安河内 健
注	栗城 匠	西岡 顕心

**SG2冠の
片岡雅裕がリードする**

片岡雅裕は23年三国のチャレンジカップを優勝してSGV2。出足を重視で安定感がありV候補の筆頭だ。池永太は手堅いハンドル捌きで対抗一番手。山本寛久、森定晃史が地元のアドバンテージを生かす。速攻力ある松尾昂明、佐藤隆太郎、安河内健も上位圏内。佐々木完太、栗城匠、西岡顕心も侮れない。



下関	1/31 ~ 2/3	
MNBR下関11th マンスリー BOATRACE杯		
◎	藤原 碧生	竹田 辰也
○	上平 真二	妹尾 忠幸
△	渡辺 浩司	石川 真二
×	井本 昌也	加藤 政彦
注	三浦 敬太	福田 宗平

2024年に大ブレイクした藤原碧生が主役筆頭

2024年最優秀新人最有力候補の藤原碧生が断然の主役。3月浜名湖で自身初Vを果たすと、6月に地元児島、7月若松でも優勝。9月の当地ルーキーシリーズでもイン逃げ快勝した。当地連続Vは十分に射程に入る。竹田辰也と着実な成長を見せる井本昌也が地元の牙城を守るか。

徳山	1/10 ~ 13	
西部記者クラブ杯争奪戦		
◎	桑原 悠	原田 幸哉
○	平山 智加	原田才一郎
△	井本 昌也	松崎祐太郎
×	新田 泰章	原 豊土
注	西野 翔太	岡本翔太郎

超強力布陣の九州勢がV戦線を盛り上げる

V候補の筆頭格は桑原悠、原田幸哉の長崎支部コンビ。ともに昨年はグランプリシリーズ回りだったが、今年はグランプリの18人を目指すだけに、年始からリズムに乗りたいところ。原田才一郎、松崎祐太郎も当地との相性はまずまずで今節は九州勢が中心。女子では平山智加がV争いに加わりそう。

若松	1/13~19	
GGO2カップ		
◎	濱野谷憲吾	木下 翔太
○	安河内 健	平高 奈菜
△	北村 征嗣	江夏 満
×	村上 遼	安東 幸治
注	高田 明	榎 幸司

濱野谷憲吾が文句なしの主役。女子も強豪が多数

出走回数不足によりこの1月からA2級に降格する濱野谷憲吾だが、実力が落ちたわけではなく、一般戦では格の違いを見せてくれそう。木下翔太、安河内健、北村征嗣、江夏満が2番手グループ。初A1級の安東幸治も楽しみな存在。平高奈菜を筆頭に関野文、中田夕貴ら女子のメンツも充実している。

徳山	1/17 ~ 22	
サンケイスポーツ杯争奪戦		
◎	羽野 直也	竹井 貴史
○	鈴木 勝博	中田 元泰
△	前野 竜一	加藤 政彦
×	宮田 龍馬	野口 勝弘
注	石川 諒	吉田 一郎

福岡支部コンビの2強ムード

V候補の筆頭は羽野直也。昨年はまさかの優勝ゼロに終わり今年のリベンジを目指す1年になる。一方、竹井貴史は昨年3Vと調子はまずまず。ともに今節が休み明けて25年の開幕戦となるだけに相当な気分で挑む。この両者に攻め強力な鈴木勝博、中田元泰が迫る構図。地元勢では前野竜一に注目だ。

若松	1/26~30	
ミッドナイト第42回 日本モーターボート選手会会長杯		
◎	井口 佳典	山田 哲也
○	高倉 和士	中岡 正彦
△	中野 仁照	松井 洪弥
×	前田 篤哉	今村 暢孝
注	高田ひかる	川井 萌

当地得意な井口佳典に山田哲也、高倉和士が迫る

当地では周年とマスターズCでGI2勝の井口佳典。山田哲也は24場制覇の最後が当地だったが、12戦11勝と圧巻の強さ。連覇も十分あり得る。中岡正彦も当地は優勝4回を誇る得意水面。地元勢は高倉和士と今村暢孝が迎え撃つ。勢いある中野仁照、女子では高田ひかる、川井萌らの走りも楽しみ。

徳山	1/28 ~ 2/2	
第14回ボートレース レディースVSルーキーズバトル		
◎	守屋 美穂	常住 蓮
○	清水 愛海	島川 海輝
△	前田 紗希	藤田 俊祐
×	佐々木裕美	佐藤 航
注	野田 彩加	仲道 大輔

最強レディース軍団にルーキーズが挑む

団体戦の要素もある今大会。守屋美穂、前田紗希に、清水愛海、佐々木裕美、野田彩加ら地元最強レディースが集結。ルーキーチームも常住蓮を筆頭に次の世代を担う強豪が集まった。当地実績では総合的にレディースチームが優勢。ただ、ルーキーチームも近況好調組多く激戦は必至だ。

若松	2/1~7	
日本トーター杯BTS北九州 MD開設18周年記念競走		
◎	中辻 崇人	岡村 慶太
○	上野真之介	原田才一郎
△	安河内 将	白水 勝也
×	前沢 丈史	砂長 知輝
注	戸敷 晃美	前原 大道

一般戦無双中の中辻崇人筆頭に地元勢が充実

前期はF2で3か月の休みがあった中辻崇人の復帰4節目。昨年は年間勝率が8点台で優勝8回、年間最多勝利のタイトルも獲得と一般戦ではズバ抜けた強さ。岡村慶太、原田才一郎、白水勝也と地元勢の層が厚い。上野真之介、安河内将の佐賀勢との九州対決。当地では常に快速の戸敷晃美が面白い存在。

下関	1/21 ~ 26	
長府製作所杯		
◎	桐生 順平	佐々木康幸
○	吉村 正明	古澤 光紀
△	岡村 慶太	高野 哲史
×	森永 淳	前田 聖文
注	片橋 幸貴	原田才一郎

グランプリ戦士の桐生順平がV最短に立つ

桐生順平が優勝の大本命となる。昨年10月の戸田SGダービーでは峰竜太のイン戦を3コースまくりで勝利して悲願の地元SG初制覇を成し遂げた。持前のスピードはボート界屈指。豪快戦でVを奪取だ。昨年3月の戸田Vで史上35人目の24場制覇を達成し復調してきた佐々木康幸が待ったを掛けるか。

24場出場予定選手&展望

レース場担当者

徳山：日刊・洲上
 下関：西日本スポーツ・岡部
 若松：スポーツ報知・井上誠之
 芦屋：スポーツ報知・井上泰宏
 福岡：スポニチ・鳥飼
 唐津：報知・高木
 大村：報知・長谷

<p>福岡 1/14～19</p> <p>創刊76周年記念・スポーツニッポン杯</p> <table border="1"> <tr><td>◎</td><td>湯川 浩司</td><td>平田 忠則</td></tr> <tr><td>○</td><td>藤原啓史朗</td><td>渡邊 優美</td></tr> <tr><td>△</td><td>里岡 右貴</td><td>河村 了</td></tr> <tr><td>×</td><td>小野 生奈</td><td>溝口海義也</td></tr> <tr><td>注</td><td>松尾 昂明</td><td>中村 魁生</td></tr> </table>	◎	湯川 浩司	平田 忠則	○	藤原啓史朗	渡邊 優美	△	里岡 右貴	河村 了	×	小野 生奈	溝口海義也	注	松尾 昂明	中村 魁生	<p>実力派が揃い激戦ムード 湯川浩司が当地連続Vへ</p> <p>現行エンジンの使い納めとなる今節。昨年10月に中堅機を快速足に仕上げた湯川浩司が当地連続Vに照準。対抗馬には当地10Vの実績を誇る地元の平田忠則を挙げたい。藤原啓史朗は22年10月以来の当地戦とブランドの影響がなければ活躍必至。渡邊優美、小野生奈が男子勢に挑む。</p>	<p>若松 2/9～12</p> <p>若松夜王シリーズ第4戦 ニッカン・コム杯若松クラシック</p> <table border="1"> <tr><td>◎</td><td>秋山 直之</td><td>渡邊雄一郎</td></tr> <tr><td>○</td><td>田中 和也</td><td>飯山 泰</td></tr> <tr><td>△</td><td>村松 修二</td><td>宮田 龍馬</td></tr> <tr><td>×</td><td>新田 泰章</td><td>川上 剛</td></tr> <tr><td>注</td><td>鳥飼 眞</td><td>渡邊 英児</td></tr> </table>	◎	秋山 直之	渡邊雄一郎	○	田中 和也	飯山 泰	△	村松 修二	宮田 龍馬	×	新田 泰章	川上 剛	注	鳥飼 眞	渡邊 英児	<p>当地巧者が多数参戦も シリーズの軸は秋山直之</p> <p>当地で3回以上の優勝歴がある選手が実に14人も参戦。遠征勢でも渡邊英児は5回、秋山直之は4回の優勝歴を誇る。地区選の裏開催でA1級は渡邊雄一郎1人だが、秋山は出走回数不足によるA2級なので当然のようにV争いの中心になる。初Vが当地だった宮田龍馬にも注目。</p>
◎	湯川 浩司	平田 忠則																															
○	藤原啓史朗	渡邊 優美																															
△	里岡 右貴	河村 了																															
×	小野 生奈	溝口海義也																															
注	松尾 昂明	中村 魁生																															
◎	秋山 直之	渡邊雄一郎																															
○	田中 和也	飯山 泰																															
△	村松 修二	宮田 龍馬																															
×	新田 泰章	川上 剛																															
注	鳥飼 眞	渡邊 英児																															
<p>唐津 1/19～24</p> <p>ルーキーシリーズ第2戦 スカパー！・JLC杯</p> <table border="1"> <tr><td>◎</td><td>末永 和也</td><td>常住 蓮</td></tr> <tr><td>○</td><td>藤原 碧生</td><td>高橋 竜矢</td></tr> <tr><td>△</td><td>濱野 斗馬</td><td>大澤 風葵</td></tr> <tr><td>×</td><td>中村 日向</td><td>砂長 知輝</td></tr> <tr><td>注</td><td>鰐部太空海</td><td>石渡翔一郎</td></tr> </table>	◎	末永 和也	常住 蓮	○	藤原 碧生	高橋 竜矢	△	濱野 斗馬	大澤 風葵	×	中村 日向	砂長 知輝	注	鰐部太空海	石渡翔一郎	<p>地元の末永和也を中心に 優勝争いを展開</p> <p>地元トップルーキーの末永和也が主役を務める。特別戦でも好歴を残す卓越した旋回力を駆使して白星を量産する。2024年初優勝組は勝負強く、濱野斗馬は5V、藤原碧生は4V、常住蓮は3V。藤原は最優秀新人のタイトルを濃厚にしている。高橋竜矢、大澤風葵、中村日向も優勝争いには欠かせない。</p>	<p>芦屋 1/11～16</p> <p>オールレディース マクール杯</p> <table border="1"> <tr><td>◎</td><td>川野 芽唯</td><td>三浦 永理</td></tr> <tr><td>○</td><td>寺田 千恵</td><td>細川 裕子</td></tr> <tr><td>△</td><td>山川美由紀</td><td>中谷 朋子</td></tr> <tr><td>×</td><td>海野ゆかり</td><td>長嶋 万記</td></tr> <tr><td>注</td><td>魚谷 香織</td><td>中川 りな</td></tr> </table>	◎	川野 芽唯	三浦 永理	○	寺田 千恵	細川 裕子	△	山川美由紀	中谷 朋子	×	海野ゆかり	長嶋 万記	注	魚谷 香織	中川 りな	<p>山川美由紀は 芦屋女子戦連覇へ</p> <p>芦屋のオールレディースは2023年11月以来で、その時の優勝者でもある川野芽唯が純地元の芦屋で華麗に舞う。三浦永理や細川裕子も当地を走れば好走する好相性水面だ。昨年9月ヴィーナスシリーズ覇者の山川美由紀は当地連続Vを狙う。優勝戦1号艇で山川に敗れた寺田千恵はリベンジに燃える。</p>
◎	末永 和也	常住 蓮																															
○	藤原 碧生	高橋 竜矢																															
△	濱野 斗馬	大澤 風葵																															
×	中村 日向	砂長 知輝																															
注	鰐部太空海	石渡翔一郎																															
◎	川野 芽唯	三浦 永理																															
○	寺田 千恵	細川 裕子																															
△	山川美由紀	中谷 朋子																															
×	海野ゆかり	長嶋 万記																															
注	魚谷 香織	中川 りな																															
<p>唐津 2/1～6</p> <p>九州スポーツ杯</p> <table border="1"> <tr><td>◎</td><td>岡崎 恭裕</td><td>徳増 秀樹</td></tr> <tr><td>○</td><td>赤坂 俊輔</td><td>古澤 光紀</td></tr> <tr><td>△</td><td>田頭 実</td><td>渡邊 優美</td></tr> <tr><td>×</td><td>濱崎 直矢</td><td>川野 芽唯</td></tr> <tr><td>注</td><td>酒見 峻介</td><td>蒲原 健太</td></tr> </table>	◎	岡崎 恭裕	徳増 秀樹	○	赤坂 俊輔	古澤 光紀	△	田頭 実	渡邊 優美	×	濱崎 直矢	川野 芽唯	注	酒見 峻介	蒲原 健太	<p>渡邊優美と川野芽唯が 参戦の男女混合シリーズ</p> <p>SG覇者の岡崎恭裕と徳増秀樹が実力発揮といきそうだが、徳増はDC競走や3Daysでも苦戦するなど当地近況のレース内容はピリッとせず。軌道修正を図りたい。女子は実力者が多く、川野芽唯、渡邊優美以外にも、落合直子、中川りな、原田佑実が軽量の利も生かして見せ場を作りそう。</p>	<p>芦屋 1/23～28</p> <p>BTS日向開設14周年記念</p> <table border="1"> <tr><td>◎</td><td>篠崎 元志</td><td>田中信一郎</td></tr> <tr><td>○</td><td>西村 拓也</td><td>木下 翔太</td></tr> <tr><td>△</td><td>船岡洋一郎</td><td>近江 翔吾</td></tr> <tr><td>×</td><td>田頭 実</td><td>井上 一輝</td></tr> <tr><td>注</td><td>吉田凌太郎</td><td>加藤 翔馬</td></tr> </table>	◎	篠崎 元志	田中信一郎	○	西村 拓也	木下 翔太	△	船岡洋一郎	近江 翔吾	×	田頭 実	井上 一輝	注	吉田凌太郎	加藤 翔馬	<p>篠崎元志が地元水面で 貫禄を見せつける</p> <p>篠崎元志は昨年当地を4節走り、優出を逃したのは8月の周年だけ。その時もすっかり予選は突破しており、九州地区選とお盆戦は準V、GW戦では優勝を飾った。地元では12月にケガから復帰の田頭実にも注目だ。田中信一郎を筆頭に西村拓也、木下翔太、井上一輝と大阪勢も粒ぞろい目が見えそう。</p>
◎	岡崎 恭裕	徳増 秀樹																															
○	赤坂 俊輔	古澤 光紀																															
△	田頭 実	渡邊 優美																															
×	濱崎 直矢	川野 芽唯																															
注	酒見 峻介	蒲原 健太																															
◎	篠崎 元志	田中信一郎																															
○	西村 拓也	木下 翔太																															
△	船岡洋一郎	近江 翔吾																															
×	田頭 実	井上 一輝																															
注	吉田凌太郎	加藤 翔馬																															
<p>大村 1/19～24</p> <p>BOAT Boyカップ</p> <table border="1"> <tr><td>◎</td><td>妹尾 忠幸</td><td>今泉 友吾</td></tr> <tr><td>○</td><td>西橋 奈未</td><td>林 美憲</td></tr> <tr><td>△</td><td>田中 和也</td><td>柳内 敬太</td></tr> <tr><td>×</td><td>長尾 章平</td><td>有賀 達也</td></tr> <tr><td>注</td><td>向後 龍一</td><td>鳥飼 眞</td></tr> </table>	◎	妹尾 忠幸	今泉 友吾	○	西橋 奈未	林 美憲	△	田中 和也	柳内 敬太	×	長尾 章平	有賀 達也	注	向後 龍一	鳥飼 眞	<p>当地前回Vの妹尾忠幸。 西橋奈未にも注目だ</p> <p>24年11月に当地4回目の優勝を飾った妹尾忠幸に期待。今泉友吾も当地は2V。前は準優勝、前々回は優勝と2連続で優出中だ。ベテラン林美憲も当地は8優出2Vと実績は申し分ない。混合戦なので注目は女子レーサーか。中でも西橋奈未はターンのうまく注目。優勝も期待できそう。</p>	<p>芦屋 2/4～9</p> <p>第13回楽天銀行杯</p> <table border="1"> <tr><td>◎</td><td>今村 暢孝</td><td>本多 宏和</td></tr> <tr><td>○</td><td>橋本 年光</td><td>大須賀 友</td></tr> <tr><td>△</td><td>松山 将吾</td><td>宇佐見 淳</td></tr> <tr><td>×</td><td>伊藤 誠二</td><td>佐々木翔斗</td></tr> <tr><td>注</td><td>川北 浩貴</td><td>石田 政吾</td></tr> </table>	◎	今村 暢孝	本多 宏和	○	橋本 年光	大須賀 友	△	松山 将吾	宇佐見 淳	×	伊藤 誠二	佐々木翔斗	注	川北 浩貴	石田 政吾	<p>実力拮抗で激戦必至。 今村暢孝が水面実績断然</p> <p>各地で地区選が行われていることもあり、上位陣は実力拮抗で大激戦。地元の今村暢孝がA2級なのは出走回数不足だけ。GI2回を含む芦屋通算8Vと水面実績も断然。ペラ巧者の大須賀友やF禍を乗り越えた本多宏和、芦屋V歴のあるA1級復帰コンビにも要注目だ。</p>
◎	妹尾 忠幸	今泉 友吾																															
○	西橋 奈未	林 美憲																															
△	田中 和也	柳内 敬太																															
×	長尾 章平	有賀 達也																															
注	向後 龍一	鳥飼 眞																															
◎	今村 暢孝	本多 宏和																															
○	橋本 年光	大須賀 友																															
△	松山 将吾	宇佐見 淳																															
×	伊藤 誠二	佐々木翔斗																															
注	川北 浩貴	石田 政吾																															